



38 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号
ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：鳥居和久/幹事：須田幸史朗/SAA：山本隆一

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

本日の例会

〈第1752回〉 2022年6月7日(火) 本年度第37回

卓話

2022-23 年度幹事としての活動について

担当：稲垣次年度幹事

- ロータリーソング
 - ランチタイムミュージック
- 君が代・四つのテスト

次回の例会

6月14日(火)

次回卓話

夜例会

前回の報告

会長インフォメーション PRESIDENT INFORMATION

会長：鳥居 和久

皆さんこんにちは。明日からもう6月です。

6月になると、いろいろなモノやサービスの値上げラッシュが始まります。

値上げラッシュの主な要因は、新型コロナウイルス感染拡大による物流の混乱、低賃金の外国人労働者の不足、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の上昇、円安などと言われています。

ところで、特許料や商標登録料も本年4月1日から値上げになっています。その理由は、審査負担の増加などにより、特許特別会計が毎年度連続して赤字決算となり、財政状況が逼迫しているからだそうです。

特許庁の会計は、一般会計ではなく、特別会計です。年間予算は1500億円程度です。特許特別会計は、出願人から出願料、審査請求料、特許料等を徴収し、特許・実用新案・意匠・商標の審査・審判及び権利の登録等を行うために必要な経費を支出する、いわゆる独立採算で、これまで一般会計に依存したことはありません。

大口ユーザーである大企業から値上げに反対の声はあまり聞きませんでした。何とも不思議な業界です。

ロータリー親睦活動月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「心機一転 Turn over a new leaf=新しいページをめくる」

1.先日5/25燦々会がございまして、鳥居会長と津野次年度会長稲垣次年度幹事と共に出席してまいりました。

各クラブとも次年度こそは、通常の運営に戻るであらうという認識でした。

2.かねてより告知してました通り、6月14日は夜例会を開催しますのでよろしくお願いたします。

☺ NIKONIKO箱 ☺

¥13,000.- 累計 ¥421,500.-

秀島会員 卓話担当です。
よろしくお願いたします。

田中(信)会員 本日満81才の誕生日です。
元気に過ごしています。
これからもよろしく御指導下さい。

津野会員 前回欠席のおわび

大阪鶴見RC国際交流基金

¥3,000.- 累計 ¥80,000.-

中村会員 次年度 作文コンクール実施への御協力御願致します。
来月中、国際交流基金への御協力何とか宜しく御願致します。



今月の表彰とお祝い

◆誕生日

中村 浩一、山本 隆一、発 剛士

◆在籍年数

3年 水口 敦司

◆ホームクラブ10回連続賞

発 剛士、菊井 康夫、清水 正憲
須田 幸史朗、田中 信明、鳥居 和久
山本 隆一

◆結婚記念日

6月4日 谷 康平、 6月5日 水野 靖彦

◆事業所創立日

6月17日 濃添 敬造、 6月23日 吉羽 潤司

各会員

卓話

近未来とメタバース

担当:秀島会員



大層なタイトルになっていて「何を喋るんだ」と皆さん疑問をお持ちかと思ひます。実は僕自身も何を喋るのか良く分からないのですが、おさらいから順番にお話ししたいと思います。

「メタ」と言う語彙がいきなり一般的になったのは、昨年10月28日にフェイスブック(FB)が社名を「メタ(Meta)」(正確にはMeta Platforms, Inc)に変更してからのもので、未だ半年前の事です。

実は僕が社外取締役の「メタリアル」(東証グロース6182)は昨年3月以来社名変更を検討していて、「メタ」が最有力候補だったのですが、当時は世間の

出席報告

5月31日[1751回]

会員数	28名	ビジター	0名
(内出席規定免除)	11名	ゲスト	0名
出席会員	13名中 8名	出席総数	16名
出席免除会員	11名中 8名	前々回	5/17 M/U 5名
休止会員	4名	出席率	76.19%
出席率	76.19%	修正出席率	90.91%

認知度が全く低くIR上の難点などもあり二の足を踏んでおりました。

最終決定は6月中旬でしたが、子会社の社名変更なども絡む手続きを踏んで、正式に商号変更出来たのは9月1日とFBの社名変更より2ヶ月早く出来たのはラッキーでした。

「メタ」と言う語彙は、「超越した」、「高次の」という意味の接頭辞として使われていますが、実は初めてそのような意味で「メタ」と言う語彙を使ったのは古代ギリシアの哲学者アリストテレス(前384年 - 前322年)で、『メタピュシカ』(形而上学)という本とされています。

元々は「タ・メタ」が「後(あと)」という意味で「自然学(タ・ピュシカ)」の次に来るものという意味だったようです。つまりは「自然学」の範囲を超越する「普遍的概念」の学問が「形而上学」と言う事です。

では「バース」ですが、「宇宙」「世界」「森羅万象」を意味します。従って「メタ+バース」とは宇宙/世界/森羅万象を超越した、より高次の空間・時間と言うことになります。

さて、社名を「メタ」に変更したFBは、2014年に消費者向けVRゴーグルの「オキュラス」と言う創業2年の小さな会社を20億ドル以上で買収しています。スタンフォード大学心理学のジェレミー・ベイレンソン教授は「VRは脳をどう変えるか?」と言う本で、買収発表の2週間前にマーク・ザッカーバーグが彼の研究室を訪れ、VR体験に驚愕した逸話を書いておられます。VRと環境認知について目から鱗の本ですので、関心をお持ちの方は読んでみてください。

FBは「オキュラス」買収後2019年にスタンドアロン型の「オキュラスクエスト」、2020年10月に「オキュラスクエスト2」(現メタクエスト)が破格の安値37,000円(原価割れとみられている)を発売しています。1年半で販売台数は1000万台を超えたとされており、2016年発売のPSVRが3年で500万台(と言われる)3~4倍の勢いです。世界の動きを測りながら、メタバースの概念に行き着き、社名変更までして打って出たマーク・ザッカーバーグの先見の明を信じるしかないと考えています。

WEB 1.2.3.とメタバース

ここで話は少し変わりますが、WEB 1.2.3.について考えていることとお話します。

WEB 1.2.3.はいずれも人類を平等にし、生活の制約を取り除く人間的な技術であると考えています。

認知度が全く低くIR上の難点などもあり二の足を踏んでおりました。

おさらいになりますが、WEB 1とは何だったのでしょうか?

僕はこれを情報と知識の民主化であったと思います。大学や研究機関の研究者やプロフェッショナルな職業人しか持っていない知見が、インターネットで手軽に検索できる世界になりました(検索できない国も有りますが)。

では、現在進行中のWEB 2とは何でしょうか?

WEB 1では受け取るだけだった情報と知識を誰もが自由に発信できるようになりました(発信できない国も有りますが)。その皮切りになったWikipediaには誰でも書込むことが出来ますが、かつては百科事典などの記事は職業人にしか書くことが許されませんでした。そこまでディープでなくてもマスメディアに替わってスマホで個人が各種SNSに何時でも発言できますし、個人ブログも普通になりました。映像ではTVを見るより個人投稿のYouTubeが面白い時代になり、ウクライナでは市民が軍隊の斥候までしています。

ではWEB 3はどのような世界をイメージすれば良いのでしょうか?

僕のイメージはユニバース(宇宙、世界、森羅万象)の自由化と民主化、つまりメタバースがWEB 3の世界です。

個人で言うならば、人種、男女、容姿、年齢、障害などなどの属性から解放され、生活の制約が無くなる。世界で考えるならば国境が無くなり、経済活動や政治活動(思想・信条)が民主化され、人類が平等になる。宇宙ベースで考えると、人類は死ななくなりタイムトラベルさえ出来るようになる。これらが近未来に起こると考えています。

まるで夢物語のように聞こえると思いますし、僕自身も本当に大丈夫か?と思っています。しかし、WEB1もWEB2も克つては夢物語でしたし、テクノロジーの進歩は加速します。

ところで最近はWeb3.0と銘打ってFTやNFTが流行りですね。FT(Fungible Token)は基本的に仮想通貨の事、NFT(Non-Fungible Token=ノン-ファンジブル トークン)はイーサリアム、デジタル絵画やデ

Rotary



ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

(3ページより)

デジタル土地、デジタルファッションなどの資産(?)の証明書の事です。

FTの仮想通貨は既に崩壊過程に入っていると思いますが、NFT(証明書=トークン)も**近未来に崩壊**すると予想します。「ブロックチェーンが有るから偽造できない」と言うのも眉唾で名画等の贋作、紙幣等の偽造が熟練者による手仕事の時代からデジタル技術者のスキルに替わるだけでしょう。まして数年後に量子コンピューターなどが出てきたら、贋作、偽造の障壁も圧倒的に低くなり、手仕事と違ってデジタルではやり放題、取り立ててフェイクとも言われなくなると思っています。

「インターネットの寡占を民主化する」というWeb3.0の尊いレトリックも、GAFAにブロックチェーンで対抗するのでは無理だと思います。そもそもティム・バーナーズ(World Wide Webを考案したイギリスの計算機科学者)が考えたWeb3.0と流行りのレトリックは似て非なるものと言われます。

特にゲーム界限では、ルールを共有しない意図的な騙しの構造と煽り文句がまかり通っています。話を聞くと(やったことが無いので)STEPNなどは典型的なポンジ・スキーム(20世紀前半のチャールズ・ポンジという詐欺師に由来し、「出資してもらった資金の運用益を出資者に還元する」などと謳っておきなが

ら、実際には後から参加した出資者から集めたお金を、以前からの出資者に“配当金”などと偽って渡す出資詐欺)でしょう。デジタルの靴を買って歩くとお金(と言っても仮想通貨らしい)が儲かるそうです。

同様のPlay to Earn型でAxie Infinityというゲームは既に破綻したと聞きます(やったことが無いので)。Web3.0を謳ったゲームはいずれ次々に破綻するでしょうね。

プーチンの妄想よりも粗末な幻想を煽られて信じる(しかない)人と、そのような人の存在を見越したうえで彼らの妄想を掻き立てる仕掛人、幻想が露呈する前に懐を肥やそうとする人達が居ます。

なんぼ自己責任であってもこれは自己責任詐欺に当る。リアルでは規制されるねずみ講(犯罪だそうです。)とマルチ商法(犯罪ではないそうです。)がまかり通る、規制が追いついて居ないデジタル鉄火場と考えています。

WEB3.0と銘打った話には、くれぐれもお気をつけてくださいませ。

本日のロータリーソング

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

担当:源(稲垣) 会員